

人文社会科学特別科目

授業科目名	授業題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日 講時
人文社会科学特別科目	Well-beingの人文社会科学:よりよき生に向けて	2	越智 郁乃	1	木曜1限

科目名：人文社会科学特別科目

曜日・講時：木曜 1 限

セメスター：1 単位数：2.00 単位

担当教員：越智 郁乃

コード：LD14101, 科目ナンバリング：LAL-0AR701J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Well-being の人文社会科学：よりよき生に向けて

2・授業の目的と概要： この授業は、文学研究科の博士後期課程の学生を対象として、人文社会科学の幅広い視野を提供する。研究者として専門を深く掘り下げるために必要な広範な教養を体得してもらうこと、あるいは高度な専門性を具えた職業人として要求される俯瞰的な視野を涵養することを目指して、文学研究科の日本学専攻・広域文化学専攻・総合人間学専攻の教員が、それぞれの専門的な知見に基づいて、オムニバス形式で講義を提供する。講義はすべてオンライン形式による。

本年度は「Well-being の人文社会科学：よりよき生に向けて」を共通テーマに据え

3. 学習の到達目標：(1) 人文社会科学の幅広い視野を学び、研究者として自らの専門を深く掘り下げるために必要な広範な教養を身につける。

(2) 深く広い知識をもとに、高度専門職業人として要求される俯瞰的な視野を涵養する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 片岡龍「Well-being と養生論」(4 月 10 日)
2. 荻原理「西洋哲学の well-being 論」(4 月 17 日)
3. 島崎薫「Well-being と日本語教育」(4 月 24 日)
4. 茂木謙之介「『ウェルビーイング』のための怪異研究」(5 月 1 日)
5. 嶋崎啓「啓蒙主義と幸福」(5 月 8 日)
6. 安達宏昭「近代日本における通俗道徳と現代社会」(5 月 15 日)
7. 小泉政利「暗号と言語：戦時と平時の言語学」(5 月 22 日)
8. 渡邊英幸「中国古代におけるよき生の希求と投機」(5 月 29 日)
9. 川口幸大「移動と食と well-being」(6 月 5 日)
10. 谷山洋三「Well-dying & Well-being のためのコンパッション・コミュニティ」(6 月 12 日)
11. 中西太郎「Well-being の日本語学、多文化共生社会におけるコミュニケーションの多様性」(6 月 19 日)
12. 辻本昌弘「抵抗と服従の社会心理学」(6 月 26 日)
13. 黒岩卓「フランス文学に見る Well-being 論」(7 月 3 日)
14. 小松丈晃「Well-being の社会学」(7 月 10 日)
15. 鹿又喜隆「祈りの考古学」(7 月 17 日)

* 本授業は、特にガイダンス回を設けていません。授業の進め方の仔細は Classroom のトップに掲示しますので、そちらを参照願います。

5. 成績評価方法：各回の小課題（コメント）による。

6. 教科書および参考書：各講義中に紹介する。

7. 授業時間外学習：講義を踏まえて、紹介された参考文献などに触れ、発展的な理解を得るように努める。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：